

■ 生活賃金への取り組み

1. アプローチ

ファーストリテイリングは、生活賃金は労働者の権利であると考え、サプライチェーンで働く人々のより豊かで安定した暮らしの実現に向けて、最低賃金の保障だけでなく、生活賃金の実現をめざしています。ファーストリテイリングは、公正な報酬へのコミットメントを掲げる公正労働協会 (FLA) に 2015 年に加入して以降、FLA と協力して、取引先工場の賃金支払い状況の分析や生活賃金実現のための対応検討を進めてきました。ファーストリテイリンググループのブランドを含む多くのアパレルブランドが、生産の大部分を取引先工場に委託し、工場は、地域の最低賃金や物価、近隣工場の賃金水準、業績など、多くの要因を考慮して、従業員の賃金を決定しています。そのため、生活賃金の実現には多くの課題がありますが、工場や各種ステークホルダーとの協働を通じて、以下の取り組みを行っていきます。

- 工場と協力して、法令遵守、健全な労使関係の構築、適切な人事制度、生産効率の向上施策などを実施し、優良事例を積極的に収集・共有します。
- 発注者として責任ある調達を行います。
- ステークホルダーと協働し、病気やけが、失業などの予期せぬ事態に備えた社会保障の整備を生産国に働きかけていきます。

2. 生活賃金の定義とベンチマーク

ファーストリテイリングの「生産パートナー向けのコードオブコンダクト」では、賃金は、衣食住などの基本的なニーズを満たしたうえで、相応の社会生活を営むことができる水準であるべきとしています。また、この水準の賃金は、残業を含まない、法定労働時間の対価と捉えています。

ファーストリテイリングは、グローバル生活賃金連合 (GLWC) が公開している生活賃金の基準を用い、FLA の賃金情報収集ツールを通じて、工場における生活賃金の進捗状況を測定しています。

3. 生活賃金の実現に向けた主な取り組み

A) 賃金と諸手当の支払いにおける法令遵守

法令で定められた賃金と諸手当が正しく支払われることが、生活賃金を実現するための出発点となります。ファーストリテイリングは、これらの法的要件の遵守を誓約した工場のみと取引を開始します。また、労働環境モニタリングプログラムを通じて、最低賃金、残業手当、福利厚生など、賃金や諸手当に関する工場従業員の権利が確保されていることを定期的に確認しています。法令違反が見つかった場合は、工場に改善を要請し、改善が完了するまで進捗を確認します。

関連リンク

▶ 生産パートナーのモニタリングと評価

B) 責任ある調達の実施

ファーストリテイリングが適切な手順で発注を行うことで、工場が適正かつ効率的な生産活動を実施し、賃金を含む労働条件の改善を促進できると考えています。責任ある調達を推進するために、ガイドラインを策定し、生産部などの調達関連部門の従業員に対してトレーニングを実施しています。また、労働環境モニタリングや工場へのヒアリングを通じて、ガイドラインと取り組みの定期的な見直しを行います。

関連リンク

▶ 責任ある調達

C) 主要な生産パートナーとの協働

ファーストリテイリングは、2018 年より、FLA が提供する賃金情報の収集ツールを用いて賃金水準を把握する取り組みを進めてきました。さらに、2022 年より対象工場を拡大し、工場との対話を通じて、賃金増加に向けた課題や取り組み、ファーストリテイリングが支援できる領域を特定しています。このような対話や工場のニーズを踏まえ、生活賃金との乖離が大きい工場で、下記のプログラムを実施します。

(1) 健全な労使関係の構築

工場従業員とその雇用者である工場との間で信頼関係が構築されることにより、労働条件や賃金設定の改善について、団体交渉などを通じた、より建設的な協議が可能となります。ファーストリテイリングは、工場における健全な労使関係の構築を支援するため、2015 年、国際労働機関(ILO)と国際金融公社(IFC)の共同活動プログラムであるベターワークのグローバルパートナーとなり、工場のベターワークのプログラムへの参加を促進しています。ベターワークは、工場の労使間の効果的な対話による労働環境の改善を促進するために、工場従業員と工場の双方が参加する二者間委員会の設立とその運営を支援しています。2022 年 12 月現在、90 工場がベターワークに登録されています。この 90 工場は、ベターワークが活動している国・地域の縫製工場の 69%を占めており、昨年の 63%から6%増加しています。ベターワークが活動していない地域の工場で同等の支援を行うため、ファーストリテイリングの専門チームは、2020 年よりベターワークアカデミーのトレーニングを受け、二者間委員会の設立と効果的な運営を支援するプログラムを導入しています。このプログラムは、既存の労働組合の活動や団体交渉に代わるものではありませんが、ベターワークの指導のもと組合員とともに進め、これまで中国、ベトナム、バングラデシュ、インドネシアの 7 工場で導入しました。2023 年は追加で 12 工場への導入を予定しています。各種トレーニングを通じて、委員会が効果的に労働条件や賃金などの問題を解決するように促します。

(2)生産効率の向上

工場における生産効率は、賃金水準を決定するための重要な要因のひとつです。ファーストリテイリングは、工場従業員一人ひとりの技能水準および工場全体の生産効率向上のためのプログラムを開発し、導入しています。これまでの活動実績は以下のとおりです。

- 2020年から、作業者の技能評価と技能トレーニングを標準化するプログラムを開発し、中国の12工場でのこのプログラムを導入しました。2023年はベトナムとバングラデシュにある工場にプログラムの導入を予定しています。
- ベターワークアカデミーとのパートナーシップを通じて、生産効率の向上に寄与する人事管理と賃金管理に重点を置くトレーニングを、ファーストリテイリングのサステナビリティ部員が受講しました。2023年にこれらのトレーニングプログラムの開発を予定しています。

(D)社会保障

新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大は、経済、雇用、人々の健康に大きな影響を与え、社会保障の重要性が改めて認識されました。社会保障は、このような予期せぬ状況下において、工場従業員に緊急の所得支援やセーフティネットを提供します。

ファーストリテイリングは、生産国において、適切な社会保障を実現させるために、国際労働機関(ILO)やさまざまなステークホルダーとともに、取り組みを行ってきました。

- 新型コロナウイルス感染症の悪影響を緩和し、アパレル業界における持続可能な社会保護システムを確立するために、125以上のブランドが参加するILOのコール・トゥ・アクション(行動呼びかけ)「COVID-19: Action in the Global Garment Industry」への賛同を表明しています。ファーストリテイリングは、この枠組みに沿った取り組みを進めています。
- ILOとパートナーシップを締結し、2019年から、アジアの社会保障制度や労働環境の改善を支援しています。このプロジェクトによって、インドネシアで失業期間中の収入を保障する雇用保険制度が新たに構築されました。ILOは制度の設計から運用に至るまでのさまざまな技術サポートを提供しています。
- 2022年より、ILOが主導しているバングラデシュにおける労働災害時の労働者への収入保障と医療補償を目的としたパイロットプログラムへの支援をしています。労災補償スキーム(Employment Injury Scheme)は、労働災害による収入減から労働者を保護する、バングラデシュでは初の制度です。4年の試行期間を経て、制度の恒久化をめざしています。

関連リンク

- ▶ [アジアの労働者の社会保障充実と労働環境整備に取り組む共同プロジェクトを推進\(国際労働機関\)](#)
- ▶ [ILOとのパートナーシップにより、バングラデシュ初の労働災害保険プログラムを支援](#)

(E)ステークホルダーエンゲージメント

ファーストリテイリングは、国際的な NPO や NGO などのさまざまなステークホルダーとの関わりによって、当社の取り組みが包括的かつ調和のとれたものになると考えています。2022 年より、労働環境や人権が守られた発注が行われているかについて、ベターバイイングによる匿名でのアンケートを開始しています。ベターバイイングは、アパレル産業のサプライヤーが中心となって発足した、発注者側の責任ある調達推進に取り組むグローバル NPO です。ファーストリテイリングは、ベターバイイングの助言を受け、責任ある調達に関する取り組みの見直しと改善を実施しています。

4. 評価と報告の枠組み

生活賃金の実現に向けた施策の成果は、生産およびサステナビリティの責任者とともに毎年評価し、改善点については見直しています。また、見直した行動計画と生活賃金達成に向けた取り組みの進捗を定期的に公表しています。